

福島第一原子力発電所の状況

平成 26 年 10 月 6 日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (10/6 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.0 m ³ /h	28.3 °C	4.5 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.03 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h	35.6 °C	8.88 kPa g	A系： 0.04 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.04 Vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.5 m ³ /h	34.3 °C	0.22 kPa g	A系： 0.05 Vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.03 Vol%

<2. 使用済燃料プールの状況> (10/6 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	24.5 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	22.8 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	21.2 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	20.7 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/2 11:07 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(雑固体廃棄物減容 処理建屋[高温焼却炉建屋])	10/2 10:10 ~ 移送実施中

・H26/10/4 10:34~17:55 集中廃棄物処理施設において、サイトバンカ建屋からプロセス主建屋へ溜まり水を移送。

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (10/6 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設備 (ALPS)	増設多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2	A、B系 ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

・H26/8/20~ 今後、設置が計画されている高性能多核種除去設備の除去性能及び吸着材の交換周期等を検証するため、検証試験装置を用いて、実液通水による検証試験を実施。試験期間は3ヶ月程度を予定。

<5. その他>

・H26/10/6 10:59 頃 1号機タービン建屋1階南側電気品室の漏えい検知器が動作。現場を確認したところ、台風の影響により、1号機廃棄物処理建屋入口上部にあるダクト貫通部から流れ込んだ雨水が、漏えい検知器を動作させていることを確認。
また、同日 11:07 頃、3号機原子炉建屋1階北東の漏えい検知器が動作。web カメラによる現場確

認を行ったところ、原子炉建屋1階西側から水の流入を確認。原子炉建屋1階西側については、原子炉への注水配管、使用済燃料プール代替冷却系配管、滞留水移送配管等がないことから、機器ハッチおよび人員用ハッチ等より雨水が流入し、検知器を動作させたものと判断。なお、同日12:30 現在、3号機のプラントデータ(炉注水流量、燃料プール水温度等)に有意な変動は確認されていない。

- H26/1/29～ 2号機海水配管トレンチ凍結止水工事における凍結管を設置するための削孔について、凍結管を設置するための削孔を実施中。削孔作業と並行して、3/27より挿入作業ができるようになった孔から順次、凍結管およびパッカー挿入の作業を開始。
 - 4/2～ 挿入が完了した凍結管について凍結を開始。
 - 7/28～ 2号機海水配管トレンチ立坑Aの止水壁造成に向けた追加対策として、滞留水の冷却を目的にトレンチ内へ氷・ドライアイスの投入をすることとしているが、7/24、25に実施した試験投入の結果を踏まえ、7/28より氷の本格投入を開始。
 - 8/12～ ドライアイスを追加で投入開始。
- H26/3/14 13:35～ 共用プール西側において、凍土遮水壁の実証試験(凍結試験)を開始。
 - 6/2～ 凍土遮水壁工事を開始。
 - 10/3～ 凍土遮水壁造成工事における凍結管設置に伴い、埋設物(トレンチ等)を貫通させて凍結管を設置する箇所を対象に、事前の溜まり水調査を開始予定。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- 1～4号機原子炉建屋等への地下水流入抑制対策として設置した地下水バイパス設備について、地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日 9/24]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認したことから、10/3 9:42、海洋への排水を開始。同日 9:49 に漏えい等の異常がないことを確認。同日 15:57 に排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。なお、排水量は 1,541m³。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

- <H4エリア周辺のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- <H6エリア周辺のサンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

- <地下水観測孔サンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【1～4号機サブドレンの状況】

- H26/10/6 サブドレン他水処理施設については、一部のサブドレンピットを使用して、H26/8/12より安定稼働に向けた浄化性能確認試験等を開始している。この度、全てのピットの工事が完了したことから、使用前検査を受検するための事前準備として、残りのサブドレンピット 28 箇所について、揚水ポンプの動作確認等を開始。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

- <地下貯水槽サンプリング実績>
 - 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上